

日本茶インストラクター

上野 俊輔さん (藤枝・47歳)



緑茶を飲みながら客人や家族と語ろう「日本の風景」が失われてゆく現状を危ぶみ、日本茶インストラクターの一期生として、各地でリーフ茶の魅力を伝え歩く。「ただ、お茶の知識が豊富な人だけでは務まらない。緑茶を入れたい人を増やしたいことが、大切な仕事」と言い切る。

リーフ好き増やしたい



リーフ茶を入れる上野さん―藤枝市藤枝

二十代で茶問屋の三代目。商売柄、リーフ茶を飲まない人が増えていくと実感し、「何とかしなければ」との思いで八十年前に資格を取った。一番うれしかったのは、特別支援学校で親子向けの緑茶教室を開いた時。生徒の慣れない手つきに、「ぎゅつすを割ってしまっかも」とハラハラする母親が、お茶を飲んだ瞬間「おいしい」と目を輝かせた。活動が間違っていないと心底うれしかった。地道に続けられれば、支持者の輪が広がるような伝え方をしたい。

昨春、日本茶インストラクター協会眞支部長に就任。県内の資格取得者は今年、六百二十人を超えた。「これからも緑茶ファンを増やしたい。」